

やめてください！ 家庭ごみ有料化！！



週二回の燃えるごみや、月一回の燃やさないごみ（埋立ごみ）を出す際に、市が指定したごみ袋を買い、使うことになる家庭ごみ有料化が検討されています。昨年12月議会では、広田市議がこの問題を取り上げ質問いたしました。この間の議論をまとめました。

家庭ごみ有料化ってどんな内容ですか。

市が指定するごみ袋を買い、これを使ってごみ出しをすることになります。標準家庭の年間負担額は、約4000円となります。

「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」（埋立ごみ）の指定ごみ袋の色を分けるとしています。

市民の理解は得られていますか。

本来、市民の税金でごみ処理がされているはずなのに、市民から料金を取るの税金の二重取りではないのか。有料化してごみは本当に減るのか。不法投棄など新たな問題を引き起こすことにならないのか。様々な意見があります。有料化計画案に対する市民から寄せられた意見が301件にのぼっています。

「有料化」先にありきでは納得できません。

……審議会では「時期早尚」の意見

1月14日開かれた市の廃棄物総合対策審議会が家庭ごみ有料化について審議されました。この中で、町会では十分な合意がないとして、すぐに有料化する

ることに異論が表明されました。市民の理解と合意が無いまま有料化を導入してはなりません。



去る1月7日市民本位の金沢市政をつくる会（市民の会）が市長に対して、家庭ごみ有料化を行わないよう求める署名3069筆を提出しました。引き続き、反対署名が取り組まれています。



こうした取り組みで ごみを減らしましょう

横浜市、名古屋市などでは、有料化せずにごみの発生抑制、分別の徹底で資源化を進めています。こうした自治体と比べ本市では十分な取り組みとなっていません。新聞紙、雑誌類、古着類の回収、資源回収の常設化、せん定枝の回収と再生利用、生ごみの減量化、資源化に向けた市民的規模での取り組み、事業系ごみの分別徹底などです。こうした取り組みを市民の理解と合意で進めることを提案しています。



指定ごみ袋の種類と手数料の額（販売価格）			【税込】
指定ごみ袋の サイズ	1枚当たりの価格 （1リットル当たり1円）	販売価格 （10枚セット）	
5リットル	5円	50円	
10リットル	10円	100円	
20リットル	20円	200円	
30リットル	30円	300円	
45リットル	45円	450円	

※「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」の指定ごみ袋の色を分ける

標準世帯（大人2人・子供2人）予想負担額
1ヶ月約350円（年間約4,000円）

